

平成22年 4月 15日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 児童養護施設エス・オー・エスコどもの村

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

職員の資質向上の為のプロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

職員の援助に対する方向性をそろえるために今回の研修を企画にしました。養育感は個人個人違うので、チームとして援助できるように共通言語とスキルを身につけられるものを行いました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

アメリカで開発された「CSP(コモンセンスペアレンティング)」と「生活の構造化」の2本立てでプログラムの調整を行い、講師を大阪の情緒短期施設「あゆみの丘」の堀健一氏にお願いして、全職員講義を受けました。CSP に関しては、直接援助職員全員トレーナーの資格を取得することができました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

研修を実施するにあたって、講師の希望もあり非常勤職員も含め全職員で同じ講義を聴くことを調整できたのは良かったと思います。子どもに関わる職員が基本的なことを知っているのも子どもへ援助は同じ視点で展開できるようになってきました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

共通スキルが必要なことは十分理解していましたが、勤務体制上全員で研修を受ける機会は少なく、2~3名代表で研修を受けることが多かったのも、全体で研修を受けられたことは施設としても大きなプラスになったと感じています。このプロジェクトのおかげで職員の意識が高まったと感じています。ありがとうございました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

